

2021年
7月1日
第443号



JR東海労



http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

J R東海労働組合

発行人 木下 和樹

編集人 高山 浩

結成30年！培った組織力を基礎に、未来に向け奮闘しよう！

第37回定期大会（記念大会）



昨年の第36回大会は、JR東海労結成以来、初めて書面審議による開催



一切の組織破壊策動を許さず闘おう！

木下中央執行委員長挨拶

JR東海労は6月13日、名古屋市内で結成30年を記念しての第37回定期大会を開催しました。コロナ禍のため、人数を制約して開催しました。畑野副委員長の開会で始まり、議長に山田代議員（名古屋地本）を選出しました。主催者を代表して木下委員長は、挨拶で「30年間で培った組織力を基に、未来に向け更に奮闘しよう」と訴えました。質疑では、30年間の闘いを振り返る発言をはじめ、職場からの実践の報告がされました。本橋書記長の総括答弁、加藤副委員長の閉会挨拶、木下委員長の団結ガンバローで大会は成功裡に終了しました。

としました。労働組合として多くの行動や行事を、中止や延期を余儀なくされました。しかしコロナだからできない、やれないではなく、コロナだけ何ができるか、何をやらなければならぬ

のかを考え、実践してこられた組合員の皆さんに御礼申し上げます。

JR東海労は8月11日、結成30年の節目を迎えます。また、森下さんは加入20年、松山さんは加入10年の節目の年です。今大会は、結成30年

記念大会ですが、記念行事についてはコロナの終息状況を見て、別途行うとの判断に至りました。政府はオリンピック、パラリンピックをどうしてもやりたいようです。政府コロナ分科会の尾身会長は「このような状況でいったい何のために大会を開くのか、明確な理由を国民に説明すべき」と政府に釘をさしています。至極もつともな考えだと思えます。昨今の頃より、感染者数や医療提供体制は悪化しています。「命の選択」せざるを得ない状況が起きています。報道もされていきます。平時ならともかく、コロナ感染症を終息させ

ること、これが政府が最優先して取り組むことです。

コロナ禍で仕事が減り、まともな食事もできない母子家庭、アルバイトがなくなり学費が払えず、退学せざるを得なくなった学生、家賃滞納で住居を失ったネットカフェ生活者、このような方をきちんと生活していけるようにすることが今、政府が最優先に取り組まねばならないことです。

国は、オリンピック開催を最優先し、憲法第25条に謳われている「国民が健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」を無視し、国民の生活・命を守る使命を果たしていないのです。

今定期大会のメインスローガンに掲げたように「平和・人権・民主主義」を守り抜き、安全に、安心して、ゆとりを持って働き暮らせる社会の実現に向けて「力を出し合いました」。

会社は4月末、2020年度の決算を発表しました。2,015億円の赤字でした。会社は同日、中央新幹線品川〜名古屋間の総工事費が、1,5兆円増え、7兆400億円になる見通しを明らかにしました。更に、長期債務残高は6兆円に上る可能性も示唆しています。6兆円でも健全経営は堅持できるとしていま

【2面につづく】

6月20日投票の静岡県知事選は、33万票の大差をつけて川勝平太氏が当選した。この選挙は、リニアが争点であったことは国民の誰もが承知していたところである。言い換えれば、利便性を優先するの、住民の生活水を優先するの、という選択でもあった▼リニアを強力に推進している自民党は岩井茂樹氏（元国土交通副大臣）を推薦した。岩井氏がリニアを推進するかとはいえず、「ルート変更や工事中止も選択肢」と主張してきた。選挙後、自民党の中で、この主張は失敗だったと総括している。つまり、リニア推進をアピールするべきであったということだ▼県民の多くは騙されなかった。仮に岩井氏が当選したら、手のひらを変え、リニア建設をなし崩し的に、一気に進めようとしている、誰もが思ったに違いないだろう▼国会議員の間でも知事選は注目の的であった。国は選挙結果を真摯に受け止める必要がある。また国は、建設費が7兆円超になり、経営破綻の確実性が帯びてきた事実を受け止め、3兆円を融資した立場から、JR東海を指導すべきである▼JR東海労は、リニア建設中止に向け、訴訟で闘っている市民などと連携して、闘い続ける。



山田議長 (名古屋地本)

【1面よりつづく】
 すが、その前提は名古屋開業翌年の令和10年、平成30年度比で、運輸収入が100%まで回復することです。
 しかし、リモートワークやリモート会議の導入が進む中、利便性を高めれば運輸収入、旅客需要は回復するのでしょうか。会社は「健全経営と安定配当を堅持しつつ、中央新幹線の早期実現を目指して計画を推進する」としているだけですから、1.5兆円の増で済まない可能性は十分あります。最初に会社がリニア計画を明らかにしたときも「堅めの見通しを立てている」としていたのです。それでもなお、1.5兆円の増加です。地震に強いとしていたリニアに、更に5,000億円の地震対策費が必要とは、笑ってしまいます。まだまだ予期せぬ事態が発生し、工事が更に増加する可能性は十分にあり

ります。大会終了後に、JR総連議員懇談会所属の国会議員に説明する場を設けていただいています。会社は4月15日、「業務改革の推進」として「経営体力の再強化」に向けて業務改革に取り組み、「最も望ましい業務執行体制」を構築することを明らかにしました。3月末には「業務改革の推進」として中央新幹線関連を除き10〜15年かけて定常的なコストを単体で800億円程度削減すると公表しています。つまり更

なる効率化や経費削減で、コロナ禍で被った赤字経営を克服し、リニア建設費をひねり出そうと効率は私たちが社員の労働条件に直結します。4月15日の業務委員会でも明らかになった54歳原則出向の再開もこの一環です。当面、余っている乗務員を削減し、更には年休抑制と休日出勤前提の要員で業務を回していく体制を、改めてつくっていくというのだと思えます。2021春闘でJR東

日本は、定期昇給係数4を2に切り込みました。更に労働組合に対して、「現業機関における柔軟な働き方の実現について」という提案を行いました。一人の社員がいくつもの業務を掛け持つこととです。そして「フレキシブル欠勤」という制度を新設します。これは業務に支障のない範囲で欠勤しても良いが無給です。同時に「グループ会社における副業について」を組合に説明しています。この目的は、多能工化と労働密度の強化です。無

給の欠勤を認めるといふことは、賃金カット分は副業で補えということですが、JR東海においても更なる労働強化が目指されるのは間違いありません。JR東海における「業務改革の推進」は、労働組合の存在がネックとなります。つまり54歳原則出向の再開は、JR東海労の組織と運動を破壊する意図があるということとです。JR東海労にとどまらず、JR東海ユニオンや国労も含めて、労働組合を日本からをなくし

スローガン(案)

J R 東海労結成30年！
 培ってきた団結力を基礎に、
 平和・人権・民主主義を守り抜き、
 安全に、安心して、ゆとりを持って
 働き暮らせる社会の実現に向けて奮闘しよう！

サブスローガン

- 一、「業務改善」を通じた安全・安心を脅かす効率化、経費節減反対！
 年休失効や同意なき休日出勤反対！
 鉄道利用者の安全と利便性を守るために闘おう！
- 一、経営が破綻するリニア中央新幹線建設反対！
 自然破壊を許さない！社員と地域住民の犠牲を許さない！
 建設反対の闘いを更に広範につくり出そう！
- 一、コロナ禍に乗じた憲法改悪反対！戦争のできる国づくり阻止！
 平和・人権・民主主義を守り抜くために、
 国民投票で「改憲・NO！」を突きつけよう！
 全ての仲間と連帯して、職場・地域から奮闘しよう！
- 一、54歳原則出向を通じた組織破壊攻撃を許さない！
 コロナウイルス感染防止を口実とした働く者の犠牲による
 乗り切りを許さない！
 JR総連の総団結をつくり出し、
 一切の組織破壊攻撃を跳ね返そう！
- 一、当たり前の労働運動を展開しよう！
 関係会社の労働者との連帯を更につくり出そう！
 JR東海労の未来を切り拓くために、組織強化・拡大を勝ち取ろう！

メッセージ(順不同)

全日本鉄道労働組合総連合会(JR総連)執行委員長・山口浩治様、北海道旅客鉄道労働組合(JR北海道労組)中央執行委員長・笹森哲也様、東日本旅客鉄道労働組合(JR東労組)中央執行委員長・佐藤英樹様、JR西日本労働組合(JR西労)中央執行委員長・菅野武男様、日本貨物鉄道労働組合(JR貨物労組)中央執行委員長・高木康之様、鉄道総合技術研究所労働組合(鉄研労)執行委員長・兼松義一様、鉄道情報システム労働組合(システム労)執行委員長・高橋岳志様、ホテル聚楽労働組合執行委員長・斎藤敏彰様、株式会社鉄道ファミリー代表取締役社長・村田俊雄様、初代中央執行委員長・佐藤政雄様、JR総連議員団副団長・関ヶ原町議会議員・楠達男様、JR東海労OB会会長・福島一三様



各地本定期大会日程

新幹線地本第28回定期大会	6月20日(日)
静岡地本第32回定期大会	7月7日(水)
名古屋地本第31回定期大会	7月13日(火)
新幹線関西地本第27回定期大会	7月4日(日)

ていく攻撃の一環ということですが、いわゆる「社員会」があればいいのです。「業務改革の推進」労働運動破壊攻撃と捉えなければなりません。

今大会において、結成30年で培ってきた団結力を確認し、次なる30年をつくり出す「胎動」の議論をお願いいたします。共にごんばりましょう。

30年間の想いが詰まった発言、実践と今後の闘う決意の発言で大会をリード!

◆「東海の地に労働運動の炎を消すな」の方針に基づきJR東海労を結成した。その後、会社は物言えぬ社員づくりをし、度を超えた追及により退職したり自殺した者までいた。おかしきことはおかしきと言えぬ職場づくりが原点である。

◆トイレに行くために3分間運転席から離れた。過去、回送列車で帽子を探しに運転席を離れた事象があった。金子社長は「言うべきことを言わなかった。正規の取り扱いを周知」と言っているが、「列車が遅れる、前例がない、事後の事情聴取、ペナルティーが心配」など、言えない社風が問題である。会社は、運転士の心情や社風を全く分かっていない。赤羽国交大臣会社は対策として、「列車を止めていい。責任を追究しない。運転士資格



を持った車掌の乗務」との意見・対策を提起している。原因の究明が問われている。

◆出向者との悩みを共有する場を本部としてつくってほしい。

◆沼津運輸区分会では家庭用交番表を再配布させた。最初は出勤・退出時刻が書かれていなく、印字がにじんで数字の判別ができなかった。現場や経協などの場で抗議した。他労組組合員からお礼があった。職場からの闘いが重要である。

◆磐田市議会選挙で虫生さんを応援し当選した。JR貨物労組仲間との交流連帯ができた。

◆8月11日は結成30年の日。松山さん加入10年、森下さん加入20年と節目の年である。何かの催しを開催してはどうか。

◆病欠中の組合員への職名変更に対し、抗議の闘いを展開した。会社は職場復帰時に元の職名に戻したが、職務手当の額が理由ではないか。職務手当は多くの問題がある。乗務労働とは何かを訴えていく。

◆年末手当、夏季手当の闘いは、タイムリーであった。窓口回答など、会社の対応は問題である。◆中労委の闘いは、3月

31日の証人尋問で結審した。この闘いで、年休申し込み理由を書かなくてよくなった。年休裁判ともリンクした闘いとなった。命令後に集会を開催したい。

◆詰所で菓子を食べたことで、6名に口頭注意が出された。こんなくたらないことで処罰を受けていいのかわからない。理不尽極まりない会社対応だ。

◆30年間よく闘った。警察権力を使った弾圧がされ、弾圧に関わった管理者は軒並み出世した。

◆リニア建設反対の闘いで、静岡の差し止め訴訟裁判に参加し、共に闘うことを表明した。

◆新幹線乗務員の54歳原則出向は、JR東海労の戦力を削ぐ組織破壊攻撃である。新幹線地本と新幹線関西地本に檄を用意した。

◆コロナ対応について、地本としてあらゆる要求をし、ある程度実現している。会社は自ら対策をするわけでもなく、最低限の対処を行うばかり。物言う労組の役割を果たさなければならぬ。

◆出向先のCMCでコロナ感染が出た。会社も出向先会社も就業制限のやり方すら知らない。CMCから「年休か私傷病休

暇」と言われた。鉄事は「病欠が基本だが年休は妨げない」と回答。JRの職場では、就業制限を知らないふりをしていく。会社のいい加減な扱いは許せない。

◆ワクチンについて、副作用を考慮して「ワクチン休暇」を要求する。

◆水野さんの裁判で激励ご支援にお礼を申し上げる。水野さんは、今は生き生きとしている。

◆車いす対応で、客足が戻ると現在の要員で対応可能なかと感じる。労働強化の懸念がある。

◆情勢分析は闘うため、分析を間違えたと闘いも間違える。闘いは具体的にでなければならぬと、30年間先輩から教わった。年休裁判と212裁判で多くの成果を勝ちとってきた。新たに空白勤務指定裁判を提起した。

◆闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきた。空白的な勤務指定裁判を提起した。闘いの意義は、会社に「就業規則の厳守」「人としての生活権」を守らせること。毎日新聞社から取材を受けた。苦情申告、管理者への抗議などを行

ってきたが、空白勤務は解消されていない。憲法25条に基づき、労基法89条では労働条件が明示されている。西日本・東日本会社の就業規則と差がある。この裁判は勝利を確信している。

◆JR東海ユニオン中央委員会での発言は、「苦労に報いる」と不満ばかりである。役員はいいとこに出世するが、不幸なのは組合員である。

◆54歳原則出向に抗し、様々な闘いが、4地本一体となった闘いが必要である。新幹線2地本に檄を渡した。

◆年休裁判で「仮の指定」と言ったり、年休に順位をつけているのはJR東海だけ。他社は事由を記入していない。

◆出向対象であるJR東海ユニオン組合員は「ユニオンからは情報が無い。JR東海労の掲示などが唯一の情報源だ」と言っていた。54歳原則出向はやめるべきだ。

◆関西新幹線サービックは、コロナ感染を口実として、労務管理強化、組織破壊攻撃を仕掛けてきている。サービックに対する申し入れは16本、団交は5回行った。府労委に団交開催の斡旋申請も行った。

◆浜松駅で5月19日、コロナ感染者が出た。感染者と一緒に勤務していた組合員に対し、会社は経過観察のため自宅待機と

した。組合員が勤務証明を確認したら、会社が保健所に確認し濃厚接触者ではないとされ、勤務は「年休しかない」と言われ、仲間への感染を考慮して不服ながら年休を取った。地本は支社に抗議した。組合員は苦情申告を行い、地本は申し入れを行った。会社は「年休は懲罰である」と回答し、地本は「懲罰でもアウトだ」と再抗議した。また、体温測定報告の指示がされ、これも抗議した。会社は「お願いレベルだ」と回答した。濃厚接触者とされなかった者への対応が決まっていなかった。感染対策を本人任せにしていくという問題が浮き彫りになった。

◆新幹線で運転席を離れた事象について、在来線では訓練で「問題にしな」と言っているが、やれば追及される。同僚の運転士が3度目に特急を止め、他職にばされた。列車を止めれば恥ずかしい思いをする。熱中症予防で会社は水分補給を推奨しているが、トイレに行きたくなる。水分を控えれば、体調不良、熱中症が心配になる。背後要因を払拭していかないと改善されない。

◆3月5日、新幹線メンテナンスス東海(CMC)と団交を開催した。団交当日に洗濯機・乾燥機が新品になっていた。

◆高年齢者の労働条件は改善されない。高年齢者雇

用安定法改正が施行された。70歳まで働ける労働条件の確立のため、労働組合との真摯な討論が必要である。

◆この30年、3名の仲間が解雇され、全国の仲間を支えられ闘ってきた。闘いを通じて成果を勝ち取ってきた。次の闘いに向かっている。次の闘いに向かっている。次の闘いに向かっている。

◆年休裁判で、組合が申し入れた調査を裁判所が受け入れ、JR2社からの回答があった。東海との取り扱いは差が明らかになり、会社の主張が通じないことが明白になった。勝利を確信した。

◆54歳原則出向で、個々の組合員が抗議行動を展開している。会社は、出向後の団結を妨害している。元の乗務体制に戻す闘いを行う。



◆空白勤務裁判の檄を渡したい。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

◆空白的な勤務指定裁判の決起集会を、7月12日に合わせて開催する予定である。

JR東海労の未来に向け、組織拡大を勝ち取ろう！

本橋書記長総括答弁



私たちは今大会で、闘う方針を議論しました。憲法9条を守り、平和で安全で差別のない社会をつくることを基礎に、労働条件と職場環境改善の闘い、安全確立の闘い、またそれらを阻害するリニア建設に反対する闘いなど、そして全ての闘いの過程でJR東海労組織の強化を勝ち取り、組織拡大を勝ち取ることを目指した発言がされました。

なかつたのです。生活設計が根底から崩されま

出された職場でJR東海

現れてきます。私たちは

の闘いを進めていこうで

であり、看過することは

懇談会所属議員を通じ

車両所などの分会で

私は、赤字を口実に

運動士が走行中に運

JR東海は説明責任を果たせ！

「リニア建設費が1.5

最後に、要請書を手交

本部は60歳定年時代の

会社は、コロナ禍で新

環境、会社の姿勢が最大

JR東海は、説明で

収入をあてにしている。

①財政投融資における

現在東京第一、第二運

JR東海は8月11

の闘いを進めていこうで

JR東海は、説明で

収入をあてにしている。

②リニア中央新幹線建